

保健医療学部看護学科カリキュラムマップ

【設置の趣旨・必要性】

- 地域医療、そして地域に住まう人々の健康増進を幅広く支援できる看護師の養成のため、保健師課程を選択制として設け、看護師のみを目指す学生に対しても、地域全体を見る視点、チーム医療の視点、在宅看護、個々人に対するフィジカルそしてメンタルアセスメント力の修得など、公衆衛生、地域医療に関する看護教育を充実させ、今日までの地域の看護人材育成と安定供給を担ってきたこまつ看護学校を4年制大学へと発展させ、これからの時代に求められる知識、技術、姿勢をあわせもつ看護専門職業人育成を実現する。
- 医療・介護などのさらなる機能分化と連携強化を推進することで、ますます進行する超高齢化社会に対応できる医療体制の構築を目指し、質の高い看護職員の養成と供給を強化していく。
- 地域の大学における看護教育を希望する学生の高いニーズに対応する。
- 高齢化に対して、急性期医療と在宅医療の両立により患者の「くらし」を重視した看護ケア体制を整備するため、幅広い知識と教養を身につけたジェネラリストの基盤となる看護基礎教育が十分行き届いた人材の確保に向け、地域の将来のための看護教育と人材輩出の役割を担う。

【養成する人材像】

顕在または潜在する健康問題を抱える対象の反応をアセスメントし、その人にとって望ましい看護ケアの提供の実現に向けて、看護師として求められる知識、能力とともに、病を抱える人や老いを生きている人の心身の痛みを共感できるしなやかで繊細な感性と、人としての深さを併せもち、幅広い領域で求められる看護ケアを的確かつ柔軟に提供できる看護専門職業人を育成する。(DP①～⑧)

アドミッション・ポリシー

本学科の設置の目的、教育理念と教育目標に共感し、次に示した3つのすべてを併せもつ次のような学生を求める。

人々の営みや健康問題に関心をもち、看護師または保健師として地域社会の医療・保健・福祉分野の発展に貢献しようとする人

相手の立場に立ち、思いやりをもって接することができる人

看護学として必要とされる専門知識・技術を学ぶための基礎学力を持った人

④看護ケア能力を育てるステージ

①～③において、看護することの全体像を描いた後、特定の健康課題に対して、看護ケアが提供できる実践能力を育成する。

⑤看護ケア能力を拡げるステージ

在宅看護学と看護の統合、公衆衛生看護学に係る科目は2年次から4年次にかけて継続的に受講し、看護実践能力を臨床から地域へ拡げる意識を強く持ちながら、ケア環境とチーム体制整備に関する実践能力を長期的な視野で育成する。

⑥看護の未来を共創するステージ

「看護の未来を共創する」最後の学びのステージとして、看護学の伝承から、看護学の発展をめざし、学生自身が主体となって、看護の未来を教員と共に創る学びを充実させ、専門職業人として研鑽し続けるための基本能力を育成する。

- 共通教育科目
 - 専門基礎科目
 - 人の身体と心を知る
 - 人の健康問題を考え
 - 看護とは何かを理解する
 - 看護ケア能力を育てる
 - 看護ケア能力を拡げる
 - 看護の未来を共創する
- 黒の囲い: 選択科目、選択必修科目
赤の囲い: 必修科目

黒の囲い: 選択科目、選択必修科目
赤の囲い: 必修科目

教育課程

1年		2年		3年		4年	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
<共通教育科目> ◎導入科目…キャリア・デザインチーム論Ⅱ、アカデミックスキルズ、情報処理基礎、テーマ別基礎ゼミ、南加賀の歴史と文化 ◎人間力科目…心理学、人間の発達と心 など ◎社会力科目…日本国憲法、言葉と文化 など ◎科学力科目…クリティカルシンキング、統計学 など ◎健康と体力、外国語 など							
解剖学、生理学 心と健康のストレスマネジメント論		病理学 感染免疫学 栄養・生化学 薬理学		生活習慣病論 保健医療福祉法制度論 疫学・保健統計学		臨床医学の知識 顕在化する健康問題への理解	
市民健康論 ・地域住民の健康に係る実態把握 ・地域の看護師としての役割の理解		看護学概論 基礎看護学実習Ⅰ		看護の技基礎コースⅠ 看護の技基礎コースⅡ 看護ケア提供論: 看護理論と看護過程 看護の品格育成論 看護倫理		看護の技基礎コースⅢ 基礎看護学実習Ⅱ	
【精神保健看護学】		精神保健看護学概論 精神保健看護学実習Ⅰ		精神保健看護学演習 精神保健看護学実習Ⅱ		・精神保健看護ケアの知識と能力の修得	
【老年看護学】		老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ		老年看護学演習 老年看護学実習Ⅱ		・老年看護ケアの知識と技能	
【成人看護学】		成人看護学概論 成人看護学実習Ⅰ		成人看護学演習 成人看護学実習Ⅱ		・成人看護ケアの知識と技能	
【母性看護学】		母性看護学概論 母性看護学実習Ⅰ		母性看護学演習 母性看護学実習Ⅱ		・母性看護ケアの知識と技能の修得	
【小児看護学】		小児看護学概論 小児看護学実習Ⅰ		小児看護学演習 小児看護学実習Ⅱ		・小児看護ケアの知識と技能	
【在宅看護学】		在宅看護学概論 在宅看護学実習Ⅰ		在宅看護学演習 在宅看護学実習Ⅱ		・在宅看護ケアの知識と技能	
【公衆衛生看護学】		公衆衛生看護学概論 健康教育論		疫学・保健統計学演習 公衆衛生看護方法論Ⅰ 公衆衛生看護方法論Ⅱ		公衆衛生看護管理論 公衆衛生看護方法論Ⅲ 公衆衛生看護方法論Ⅳ 公衆衛生看護方法論Ⅴ 公衆衛生看護実習	
		看護総合実習		看護総合実習		・医療現場での看護実践能力	
		看護熟練の技科目群 安全・安楽なポジショニングの技 排便ケア 看護リーダー		食と看護 タッチケア・スキル ハンデクニカル・スキル MMPI心理検査と看護ケア		・具体的看護スキル	
		看護未来創出科目群 グローバル感染対策 看護技術の科学的検証 地域の健康課題と他職種連携		統合医療 地域包括ケア		・地域の看護課題への対応	
		看護と異文化理解 チーム医療論 研究方法論		卒業研究			

ディプロマ・ポリシー

卒業までに所定の単位を取得し、本学科の養成する人材像の実現に必要な次の知識、能力を修得した者に、学士(看護学)を授与する。具体的な能力は次のとおりである。

- 【DP①】** 看護を必要とする対象に望むケアを提供するための基本的知識、技術、態度を備えている。
 - 【DP②】** 少子化、高齢化、認知症、生活習慣病などの今後進行する看護課題について理解している。
 - 【DP③】** 病を抱える人、老いを生きている人の心身の痛みに寄り添い、共感するための感性・教養・倫理観を有している。
 - 【DP④】** 南加賀地域の健康課題を理解し、看護師に求められる素養と役割を認識している。
 - 【DP⑤】** 様々な段階の看護対象に対し、適切な看護ケアを提供できる専門知識、技術、態度を有している。
 - 【DP⑥】** 他の医療専門職業人と協働するための協調性、能力を身につけ、地域包括ケアシステム構築に向けて積極的に取り組むことができる。
 - 【DP⑦】** 看護ケアの課題解決のための具体的な専門知識や能力を有している。
 - 【DP⑧】** 人種・地域の違いに臨ずることなく看護の専門性を発揮できる心と意欲を有している。
- ※保健師選択者
地域の保健指導や健康水準の向上に貢献するための公衆衛生看護ケアの知識や能力を備えている。

**想定される
進路・
就職先**

- 【国家試験受験資格】**
・看護師
・保健師(選択者のみ)
- 【看護師】**
・病院
・介護福祉施設
・訪問看護ステーション
・行政機関
など
- 【保健師】**
・保健所
・病院
・教育機関
・企業
・行政機関
など